

2022年7月8日  
株式会社ニトリホールディングス  
株式会社 Sustech

## ニトリグループ、Sustech と自社店舗及び物流倉庫の屋根上を活用した 太陽光発電で連携

＝「FIP 制度」を活用した日本初・最大級のプロジェクト＝

株式会社ニトリホールディングス(本社：札幌市北区 代表取締役社長：白井 俊之)と、株式会社 Sustech (本社：東京港区 代表取締役社長：丹野 裕介)は連携し、設置可能なニトリグループの店舗及び物流倉庫の屋根上を活用した太陽光発電を開始することになりましたのでお知らせします。



同プロジェクトは、2022年度からスタートした再生可能エネルギーの主力化を加速させるための新制度「FIP 制度」の活用を予定したもので、ニトリグループの店舗及び物流倉庫の屋根上に Sustech が新たに開発・保有する太陽光発電設備から、ニトリグループが電力を長期買取し、余剰電力についても、Sustech が電力プラットフォーム「ELIC」を活用して外部に売電する予定です。

当初は 30 拠点程度の導入を予定していますが、2030 年度までに、設置可能な拠点に順次拡大することで、発電容量は総計 80MW 規模となり、当設備から発電される電力は年間 10 万 MWh (メガワット時) 以上となる見込みです。

同発電量は、一般家庭 23,000 世帯分の年間電力使用量に相当します。

**「FIP 制度」を活用した、自社設備の屋根上における太陽光発電プロジェクトとしては、日本初・最大級となります。**

ニトリグループは、環境に配慮した経営に取り組む基本方針のもと、気候変動が企業活動等への影響に対する情報開示を求める TCFD 提言に賛同し、積極的に推進する方針を表明しており、温室効果ガス排出量の削減などに取り組むことで気候変動への影響緩和に貢献することを目指しています。

ニトリグループとして、化石燃料価格高騰などに影響されない安定的なエネルギー調達構造を組成するとともに、併せて「FIP 制度」を活用して余剰電力を売電することで、社会に還元するスキームづくりに努めます。

本件の導入は、ニトリグループが掲げる温室効果ガス削減に関する定量目標「2030 年度までに、2013 年度比で 50%削減 (売上高 1 億円あたり排出量)、2050 年度までにカーボンニュートラル (排出量実質ゼロ)」の達成に大きく寄与することを見込んでいます。

Sustech は、ニトリグループの店舗および物流施設の屋根等に太陽光パネルの設置や保守運用・メンテナンスの役割を担うほか、「FIP 制度」に基づいて、同パネルで発電した電力をニトリグループに提供し、余剰電力についても独自に開発した電力プラットフォーム「ELIC」（発電量予測システム）を活用し、余すことなく外部に売電する予定です。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ニトリホールディングス SDGs 推進室 03-6741-1262

株式会社 Sustech 広報部 03-6722-6301

以 上